様式第１号

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ＢＬ８Ｓ２利用承認申請書  年　　月　　日  あいち産業科学技術総合センター所長　殿  　　　　　　　　　　　（申請者）　住　　所  　　　　　　　　　　　　　　　　　所属機関  　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　　名  　　　　　　　　　　　　　　　　　電　　話  　愛知県X線トポグラフィビームライン（BL8S2）利用要綱に基づき、下記のとおり利用申請します。  記 | | |
| 実　 　験　 　名 |  | |
| 利 　用 　区 　分 | 一般利用(17U1) 中小企業利用(17U2) 公共等利用(17U3) | |
| 期日及び時間 | 年　　月　　日　　第１シフト　第２シフト | |
| 年　　月　　日　　第１シフト　第２シフト | |
| 年　　月　　日　　第１シフト　第２シフト | |
| 年　　月　　日　　第１シフト　第２シフト | |
| 総 シ フ ト 数 | シフト | |
| 利 用 内 容 | 別紙のとおり | |
| ※機械器具類保管施設 | あいちシンクロトロン光センター | |
| * 貸　付　料 | 円 | |
| ※計算基礎 | 一般・中小・公共　×　　　　シフト | |
| * 納　入　通　知 | | 原　　符  　　　　　第　　　　　号  納入通知書  　　年 　 月 　 日 |
| ※　備　考 | | ※承認しない理由 |
| 規模コード（　　）　業種コード（　　） | |  |

備考１　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

　　２　利用内容を別紙に記入すること。

３　申請者は、※欄には記入しないこと。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 様式第１号　別紙 | | | | | | 実験番号 | |  | | |
| ＢＬ８Ｓ２利用内容  　　　　　　　年　　月　　日  （利用責任者）住　　所  　　　　　　　所属機関・部署  　　　　　　　氏　　名  　　　　　　　連絡先（TEL）  　　　　　　　　　　（E-mail） | | | | | | | | | | |
|  | **１ 実験名** | |  | | | | | | |  |
| **２ 利用分野** | | □素材（金属・高分子） | | □環境・エネルギー | | | | □エレクトロニクス |
| □製薬・日用品 | | □その他（　　　　　　　　　　　　　　　　） | | | | |
| **３ 利用者** | | 原則2名以上とし、氏名等は利用者全員記入してください。 | | | | | | |
|  |  | 氏　　名 | 所属部署 | | | E-mail | | |
| ***１*** | (利用責任者） |  | | |  | | |
| ***２*** |  |  | | |  | | |
| ***３*** |  |  | | |  | | |
| ***４*** |  |  | | |  | | |
| ***５*** |  |  | | |  | | |
| **４ 利用日** | | 年　　月　　日（　）　第１シフト　第２シフト  　　年　　月　　日（　）　第１シフト　第２シフト  　　年　　月　　日（　）　第１シフト　第２シフト  　　年　　月　　日（　）　第１シフト　第２シフト | | | | | | |
| **５ 測定手法**  **（◯印を付ける）** | | Ｘ線トポグラフィ　　その他（　　　　　　　　　　　　　　） | | | | | | |
| **６ 実験の概要** | |  | | | | | | |
|  |  | | | | | | | | |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| |  |  | | --- | --- | | **７ 実験の方法** | （１）測定手法  （２）測定装置、検出器、アタッチメント、試料及び試料環境等  （３）現地での試料作製、前処理、持込装置、特殊条件等 |   **８ 持込試料及びその他の物質（測定試料、化学薬品、ガス等）**  ・全ての持込試料及びその他の物質について、以下の全ての事項を記入してください。  ・実験終了後、持込試料及びその他の物質はお持ち帰りください。  ・申込者の所属機関の安全基準を満たしていることが必要です。  ・他の実験者及び職員の安全確保のため、又は法令に準拠し、当センターの判断で持込みを制限することがありますので、ご承知おきください。  ・持込み後は、あいちシンクロトロン光センターの化学薬品取扱細則及びその他関係規程等を遵守し、当該薬品実験廃棄物を適切に取り扱うものとします。  ・生きた動物、微生物、密封放射性物質等の持込みはできません。  ・保護具をお持ちくださいますようお願いします。   |  |  |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | 物質名  (化学式)  ※ 1 | 形態  (外観)  ※ 2 | 数・量・  ｻｲｽﾞ・容量  ※ 3 | 分類  ※ 4 | 有害性  ※ 5 | SDS等  ※ 6 | リスク  レベル  ※ 7 | 安全対策  ※ 8 | 使用目的  ※ 9 | |  |  |  |  |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   （注：以下の例に従って記入のこと。行数不足時は要追加。）  ※1 物質名は、化学名、慣用名等を記入(商品名はなるべく避けること)。化学式は元素記号(有機化合物の場合は示性式)で表記。組成やドープ量等の異なる試料は別々に記載(略称不可)。＜例：酸化チタン(TiO2),鉄(Fe)/シリコン(Si),エタノール(C2H5OH)＞  ※2形態(外観)は、測定試料部位の形状、外観は試料全体形状を記入。＜例：薄膜(Siウエハ)、粉末(キャピラリー)、液体（密封ポリ袋）、電極(電池セル)、ペレット(スライドマウント)等＞  ※3 数・量は、試料の個数・一試料あたりの重量・濃度等。サイズはタテ×ヨコ×厚さ等（単位を付けること）、容量は容器の包装容量（㌘、ml）等を記入。＜例：5枚・0.1㌘、10×10×0.5（単位mm）、10Lボンベ＞  ※4 分類は、SDSを確認し、表1より該当する分類を記入。複数該当する場合は複数記入。＜例 A, B, J 等＞該当する分類がない場合は「区分外」と記載。  ※5 有害性は、表1より該当する有害性を記入。複数該当する場合はリスク区分の数字が小さい項目を2～3項目程度記入。＜例：(Aの場合)可燃性固体、(Bの場合)発がん性、生殖毒性、(Dの場合)皮膚刺激性、眼刺激性、(Fの場合)酸化性固体 等＞  ※6「無害」を含めすべての物質について、持込み試料の供給元が作成したSDS等を必ず本申請書類に添付し、○印を記入。持込み試料のSDSがない場合には主たる成分のSDS、或いは類似物質のSDSを添付。  ※7リスクレベルは、リスクアセスメントを行った結果を記載すること。4段階評価でリスクレベル2の場合は 2/4 と記載。Sの判定が出た場合はSも記入。厚生労働省のホームページ「職場のあんぜんサイト」で、支援システムを提供しており、サイト上で必要な情報を入力すると、リスクレベルと、実施すべき対策、参考となる対策シートが得られます。  ・持込試料等のリスクアセスメント：http://www.astf-kha.jp/synchrotron/news/Riskassessment2018.html  ※8安全対策は「区分外」を除き全て記入すること。＜例：フィルムシートに密封、保護メガネ・手袋・マスク等着用、試料搬送導入機で真空中搬送、窒素充填バッグ中で装置へ導入等＞  ※9使用目的は、測定、器具洗浄、in-situ実験に使用等を記入。  　　記入例：http://www.astf-kha.jp/synchrotron/news/anzen02.html  表1. 分類と有害性   |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | 分類 | **A** 挿絵, 記号 が含まれている画像  自動的に生成された説明 | **B** 挿絵, 抽象 が含まれている画像  自動的に生成された説明 | **C** アイコン  低い精度で自動的に生成された説明 | **D** アイコン  自動的に生成された説明 | **E** アイコン が含まれている画像  自動的に生成された説明 | | 有  害  性 | 可燃性/引火性ガス  エアゾール  引火性液体  可燃性固体  自己反応性化学品  自然発火性液体  自然発火性固体  自己発熱性化学品  水反応可燃性化学品  有機過酸化物 | 呼吸器感作性  生殖細胞変異原性  発がん性  生殖毒性  特定標的臓器毒性  (単回ばく露)  特定標的臓器毒性  (反復ばく露)  吸引性呼吸器有害性 | 急性毒性 | 急性毒性  皮膚刺激性  眼刺激性  皮膚感作性  気道刺激性  麻酔作用 | 金属腐食性物質  皮膚腐食性  眼に対する重篤な損傷性 | | 分類 | **F** 挿絵 が含まれている画像  自動的に生成された説明 | **G** 時計, 挿絵 が含まれている画像  自動的に生成された説明 | **H** アイコン  自動的に生成された説明 | **I** アイコン  自動的に生成された説明 | **J**法令で定められた物質 | | 有  害  性 | 支燃性/酸化性ガス  酸化性固体  酸化性液体 | 爆発物  自己反応性化学品  有機過酸化物 | 高圧ガス | 水性環境有害性 | 毒物、劇物、特定毒物、危険物、特定化学物質、有機溶剤 | |
| |  |  | | --- | --- | | **９ 利用を希望する**  **当センターの装置、器具等** |  |   ※利用については必ず事前に相談すること。   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | **１０ 持込装置、器具等**  （記憶媒体等はウイルスチェック済のものであること） | 装置・器具名 | 仕様※ | 安全対策 | |  |  |  |   ※電圧、電流、圧力、温度なども記入すること。   |  |  | | --- | --- | | **１１ 特記事項**  （その他実験において留意事項等があれば記入してください。） |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | | **１２ チェックリスト** | **チェック項目** | **チェック欄** | | 各項目の必要事項を記入したか。未記入はないか。 |  | | 持ち込む全ての試料について、持込試料欄に記入したか。 |  | | 持込試料等は記入例に従った記載になっているか。 |  | | すべての持込試料について、SDSが添付されているか。 |  | |

様式第７号

|  |
| --- |
| **誓　約　書**  年　　月　　日  あいち産業科学技術総合センター所長　殿  　　　　　　　　　　　　　　　（利用責任者）  　　　　　　　　　　住　　所  所属機関・部署  　　　　　　　　　　氏　　名  　　　　　　　　　　電　　話　　　　　－　　　－  　　　　　　　　　　E-mail  BL8S2の利用に当たり、下記に掲げる事項を遵守することを誓約します。  また、実験参加者を指導し、下記に掲げる事項に従わせることを誓約します。  記  １　愛知県X線トポグラフィビームライン（BL8S2）利用要綱及び、あいちシンクロトロン光センター（以下「AichiSR」という。）に係る設置規程、利用要綱及び利用の手引き等を遵守すること。また、AichiSRが行う安全及び管理のための指示に従うこと。  ２　不慮の事故に備えて傷害保険に加入すること。  ３　実験に使用する物品、薬品等は、所定の手続きに従って持ち込み、万全の注意をもって管理すること。また、持ち込んだ物品、薬品等は全て責任を持って持ち帰ること。  ４　AichiSRの施設、設備及び物品の使用にあたっては、設備及び安全の担当者の指示に従うこと。また、使用後は従前の状態及び場所に戻すこと。  ５　施設の装置の故障等により、予定していた利用時間数が減少した場合でも、愛知県又はその職員並びに公益財団法人科学技術交流財団又はその職員に対して賠償請求を行わないこと。  ６　事故及び災害の際は、利用責任者が責任を持って対処し、速やかにAichiSR職員に報告すること。  ７　AichiSRの利用に際して知り得たAichiSRの秘密情報は、厳重な注意をもって管理、保管し、AichiSR所長の文書による事前の承諾を得ることなく、第三者に開示または漏洩しないこと。  ８　この誓約に規定する事項を守らなかった場合、愛知県に提出する書類に虚偽の記載があることが判明した場合、又はAichiSRの運営に支障をきたすとAichiSRが判断した場合には、愛知県が行う利用中止等の指示に従うこと。  ９　この誓約書について疑義又は紛争が生じたときは、相互に協議、解決を図ること。 |